

成り立ち

県看護協会主催の橋渡しナース研修会で出会った 弘前大学医学部附属病院・健生病院・ときわ会病院の看護師長3名が中心に

2007年(平成19年)3月6日

「津軽圏域包括ケアネットワーク準備交流会」

- ◆顔の見える連携
- ◆弘前を中心とした医療機関の連携実務者が対象
- ◆12医療機関

2007年(平成19年)6月22日(要綱公表日) 『津軽地域ケアネットワーク』名称が決定

◆会員17医療機関

2015年 (平成27年) 6月現在

◆会員27医療機関 賛助会員1機関



要綱(一部抜粋)

第1条 名称

本会は、津軽地域ケアネットワークとする。

第2条 目的

本会は、津軽地域における地域連携担当者の情報の共有及び スキルアップの場とする。利用者が安心して円滑に地域での 生活に戻れるよう、地域の関係機関との連携作りを推進する ことを目的とする。

第4条 会員 本会は、津軽地域における地域連携担当者(看護師・ソー シャルワーカー・事務員など)をもって構成する。また、 本会の趣旨に賛同した会員(賛助会員)をもって構成する。

取り組みと運営

- ◆役員(任期1年) 会長1名、副会長2名、事務局1名、会計1名、監査1名
- ◆会費 1機関 年3,000円
- ◆定例会を年3回(6月、10月、2月) 開催 定例会毎に企画担当の3病院を決定 役員と企画病院で2~3回企画会議を行い、定例会を開催 医療機関紹介、連携室業務紹介、グループワークなど 定例会後はNEWSを参加機関へ発行



定例会

【6月】

総会、施設名簿更新、連携実務者紹介、懇親会など

【10月】

津軽地域ケアネットワーク交流会など

【2月】

医療機関紹介、連携室業務紹介、グループワークなど



施設名簿の作成

会員・賛助会員の名簿作成

グループワークで書式検討

- ◆連携窓□情報の開示
- ◆病床区分や診療科
- ◆転院時の受け入れ条件など



- 10	附付	Sate						
				20	0.0			
201					9214		連続保健性が協力組合ではなった	
		de-de-d	iller		21.5		BROW RAW	
				北京技術系		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
en		F030-0311						
21181		(rt.p)(rtp-)	(4t.#)(crts-10-117)			180	(4.8)(02-0-102)	
7-5		th Benefits						
HP		tion / Agent Agent / Agent						
				81				
根据者口		地址建筑室			気で検問		1.30 - 16.40	
21189		\$ m in \$ com	€8:63 erra-oa-mir i c⊕man			189	(金融)2072-28-7274	
,	-,%	and other part	through the					
2008 (開致/包集)		ammen ないい (直接/金長)				直通**で種子****(EW/主任代刊)		
		Stewn 8	Ettern Son (SEE/1955)			ф#5-нь-	E87xxx (890)	
		150 m 150	日本の 日子いの (自然を/主任)			100~4	n 数子yes (200)	
		See See (SSS)				Proc. 有記子sanc (EW)		
		伊藤山田 かよぞっ (紫田県)				\$5.00 \$7.00 (\$8)		
						EB == 050 (BB)		
		_		211	efice.	_		
n	661			83/18			(MERROR) 107-07	
	老婦人科		IAN:			(数数件的)		
	かんりゃ	5/4/9F-545/8			(無経内积)		(小児和)	
azn				※①内の証券別の課後のリニックで実施				
r49)								
				λt	UNIX .			
	党82 1		食食食				素を	
-NAM			22298	- 内別・豊田の別・内別・豊穣人別・小児和・4日以				
日食用りいたフチーション作用			1018	- NATO - 完新 O - 東州を保証 O O - 表別 - O(xxx年) - NN ×			-986	
PRENR	(SE)							
анцая								
£897908								
					ą.			
		19、1型を対象		DEGYST.	1			
316074-	OION P	21A 0121A E	ET13,A,	-				

患者情報提供用紙の統一

以前は、各医療機関が独自の情報提供用紙を使用していた…

グループワークで書式検討(1)~(3)

- ◆各医療機関が欲しい情報を1枚に
- ◆介護支援専門員も活用できる
- ◆看護要約として代用



津軽地域ケアネットワークの成果

- ・施設間で電話がかけやすくなった。まさに、「顔が見える連携」!
- ・施設名簿、患者情報提供用紙を活用中
- ・入院・転院時の情報交換がスムーズに!
- ・精神科の病院も含めた連携
- ・地域の他団体との連携が積極的に行われ、地域包括ケア 実践の足掛かりができた



津軽地域ケアネットワークの課題

- ・地域包括ケア実践に向け、地域との連携の拡大と強化
- ・顔の見える連携から腹の見える連携へ ~ お互いの思い・立場を理解した連携~
- ・連携実務者のスキルアップ

ご清聴ありがとうございました。

